



総務省国際戦略局宇宙通信政策課国際係長

川崎 祥子 Shoko KAWASAKI

平成 27年 4月 総務省採用
同 情報流通行政局放送技術課
平成 29年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室
平成 30年 4月 同 国際戦略局宇宙通信政策課国際係長心得
平成 30年 8月 現職

情報通信で 将来の日常を変える

■ 宇宙の将来像を考える！

総務省で宇宙？と驚く人もいるかもしれませんが、当課では情報通信を軸に宇宙政策を推進しています。

宇宙開発は従来、政府主導で進められてきましたが、近年、ベンチャー企業などが参入してきていることもあり、世界の宇宙産業の市場規模は10年で2倍程度に急成長しています。技術の進歩も著しく、誰でも気軽に宇宙旅行はもちろん、惑星移住なんて話まで、アニメや映画の世界が現実となる日も近づいています。一方、急激な成長の裏では、宇宙ゴミが衛星と衝突する危険性があるなど、宇宙空間を今後安定的に利用するための課題も発生しています。

このような環境変化も踏まえ、総務省では、2018年8月から、「宙(そら)を拓(ひら)くタスクフォース」を開催し、現代の社会問題の解決に向け、宇宙利用の将来像について議論し、その実現のために必要となる新たな情報通信技術について、専門的な観点から検討を進めています。衛星通信以外にも、輸送システムやエンタメなど、幅広い業種の方々と、各企業が描く宇宙の将来について活発に議論しています。ある意味役所の会議らしくない、法に縛られない自由な発想で議論することは面白みがある一方、

まだ見ぬ将来から現実に沿った技術動向を導き出すことの難しさに日々頭を悩ませており、皆様の宇宙に対する熱い思いを伺いながら、日々勉強させていただいております。

■ 総務省での仕事の魅力

固定電話・携帯電話・スマートフォンと、数十年という短い間でも人々のコミュニケーションツールは大きく変化してきました。このように短い期間で根本からツールが変化する分野は、情報通信以外には他にないと私は思います。そして、情報通信は農業、工業、宇宙など他分野と繋がることでも、今まででの常識を覆すようなサービスをもたらす無限の可能性を秘めているところも面白さのひとつです。

こうした変化が激しい分野を扱うからこそ、柔軟な意見が必要であり、年次を問わず活躍のチャンスがある職場だと感じています。また部署異動も多く、全く新しい業務・出会いを数年おきに経験できるのは非常に刺激になります。同時に新たな壁にぶつかる事も多いですが、周囲の方々の暖かい支えを受けながら、いち早く個人として信頼してもらえるよう、日々の業務に励んでおります。

■ 将来に迷っている皆様へ

事務系のイメージが強いのか、技術系で行政官を選択する人は残念ながら多くはありません。しかし、各分野の専門家と対等に技術的な案件を議論しなければならない場面も多く、技術的なバックグラウンドをもつ技術系行政官の存在は日々必要とされています。

行政官の仕事とは、将来を見越して生活の豊かさを作る仕事であり、その豊かさが積み重なって出来た日常を守る仕事と感じています。もし少しでも興味を持ってくださったなら、是非インターンシップや説明会にいらしてください。10年後、50年後、100年度はどんな時代になっているでしょうか？皆様と一緒に新しい将来をつくる仕事が出来ると楽しみにしています。



猛吹雪の同期スノーボ旅行



在ドイツ日本国大使館一等書記官

田畑 伸哉 Shinya TAHATA

平成 14年 4月 総務省採用
同 情報通信政策局放送技術課
平成 16年 7月 同 情報通信政策研究所調査研究部研究官
併任 情報通信政策局総合政策課
平成 17年 8月 同 情報通信政策局情報通信政策課
情報セキュリティ対策室調整係長
併任 情報通信政策局情報流通振興課
平成 19年 7月 同 情報通信政策局地域通信振興課
地方情報化推進室振興係長
平成 20年 7月 外務省国際協力局無償資金・技術協力課
課長補佐
平成 21年 7月 同 国際協力局国別開発協力第2課課長補佐
平成 23年 7月 総務省情報通信国際戦略局国際経済課
多国籍経済室課長補佐
平成 25年 8月 文部科学省研究振興局参事官付参事官補佐
併任 情報科学技術推進官
併任 計算科学技術推進室
平成 27年 8月 総務省情報通信国際戦略局宇宙通信政策課
課長補佐
平成 28年 6月 現職

デジタル化の潮流の中での 我が国の果たす役割

皆さん、G20をご存じでしょうか。加盟国のGDPが世界の約8割以上を占め「国際経済協調の第一のフォーラム」として、国際経済関係に大きな影響力を有しているものです。このG20において、ドイツは初めて「G20デジタル大臣会合」を2017年4月に開催しました。2018年3月に樹立された第4次メルケル政権において、ドイツは「デジタル化」を自国の経済成長に結びつける重要課題として位置付け、官民を挙げて取り組んでいます。また、OECDなど多国間でのデジタル化に関する情報交換も積極的に進めています。

我が国は、このように国際場裏において積極的な貢献を果たし、かつデジタル政策面で我が国と同じスタンスを共有するドイツと密接な協力関係を構築しております。例えば、2017年3月にドイツで開催された情報通信見本市においてデジタル関係の協力事項を記載した閣僚級宣言、ハノーファー宣言に署名、デジタル/ICT分野の政策対話、閣僚

級等ハイレベルでの意見交換を定期的にも実施しております。日独両国政府の間に入り、こうした様々な案件の実現をサポートするのが、私の役割です。

スマートフォン等の普及により、インターネットは生活に欠かせないものとなり、経済活動のあらゆる場面で必須のものとなっております。一方、情報セキュリティの確保、プライバシーの保護、知的財産の保護等、多くの課題が山積み、これらの課題の解決に国際連携は欠かせません。このデジタル化の進展する時代にあり、ICT行政を所管する総務省の役割も広がっており、国内・海外を問わず行政官として幅広く活躍をする機会にも恵まれております。一度、総務省をご訪問いただければ、それを実感していただく事ができると思います。



前橋市政策部情報政策担当部長

大野 誠司 Seiji OHNO

平成 15年 4月 総務省採用
同 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成 17年 8月 同 総合通信基盤局電波部電波政策課
平成 18年 8月 内閣官房情報通信技術(ICT)担当室主査
平成 20年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部
電気通信技術システム課番号企画室
番号企画係長
平成 21年 7月 内閣官房地域活性化統合事務局参事官補佐
平成 23年 7月 在インド日本国大使館一等書記官
平成 26年 7月 総務省情報通信国際戦略局国際協力課
国際協力調査官
平成 28年 7月 前橋市政策部参事
平成 30年 4月 現職

技術的センスで グローバルに活躍しよう

これを読んでいるあなたは、理系ながら、技術の進化を追求する研究開発よりは、技術的な知識やセンスを活用して社会へ貢献したい、課題を解決したい、という方ではないでしょうか。それを可能とするフィールドは様々ですが、総務省にもそうした活躍の場があふれています。

私は、現在、群馬県前橋市に勤務し、ICTを活用したまちづくりに取り組んでいます。前橋市にも少子高齢化から始まり、医療・健康・福祉、交通、防災、教育、観光、産業、都市計画やインフラ管理などの様々な地域課題が山積しています。これらの課題に対して地域の皆さんが取り組む際、効果的・効率的にするために「ICTがうまく使えますよ」と所属分野を超えて話ができる自由な立場に私はいます。

前橋市に着任して改めて実感したのは、①制度や技術ありきでは地域での実装は進まない、②ICTは手段でしかないが、あらゆる分野で活用できる、③課題山積の地方発だから

こそできることがある、ということです。実は、5年前までの在インド日本大使館勤務の際にも同じようなことを感じ、取り組んでいました。地域や途上国が抱える具体的な課題に対して、国や制度の動向を踏まえつつ、技術的センスを背景に、地域で実装可能なリーズナブルなICTを具体的に提案して「ともに課題解決に取り組む」、そういった経験ができる場が総務省にはあります。

総務省には、技術系採用でも、ICTの技術開発推進に加え、ルールメイカーとしても、地域や国際での連携や実装を担うグローバル人材としても活躍できる環境があります。ICT分野専攻でない方でも、新しい知識を得ることを「楽しい」と考える人には活躍できる場があふれています。少しでもおもしろいと思われた方、ぜひ一緒に働きましょう！